創り上げる楽しみがある場所

人との触れ合いを大切にしたい

コスモスやススキの穂が秋風にゆらゆら揺れている。金木犀の花の香りが漂い始めるときのこ狩りのシーズンが始まるという。爽やかな秋風の中、スポーツや趣味を楽しんでいますか？ここ「みの～れ」でも沢山の芸術家さんたちが腕を振るっている。今回は、みの～れ支援隊 art minole・公演スタッフ・光と風のステージ Cue のプロジェクトチームで活躍している小川地区にお住まいの中村薫さんを取材する。

「一歩踏み出すきっかけがみの～れであってほしい」と語る中村さん

光と風のステージ Cueﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾁｰﾑ
みの～れ支援隊 art minole

中村 薫さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life のすすめ
No.41

中村さんは、一年間「みの～れ」の臨時職員として働いたことがある。それがきっかけでボランティアで活躍するようになった。「みの～れで好きなコンサートなどが催されるときは色々観に来ていた。色々なボランティアがあることは知ってはいたが、きっかけがなくて入れなかった。あるきっかけで入ってみて、若い人たちが沢山アイディアを出し合って、熱心に活動しているのには驚いた」と話す。中村さんは美術の学校を出ているので「みの～れ」では art minole（色々なイベントのチラシ等を作成している）で活躍している。11月21日に行われる第13回みの～れマタニティ・コンサートのチラシも作成した。ママに抱かれた小さな赤ちゃんのイラストに私までが微笑んでしまうような・・・あったかなチラシに仕上がっている。光と風のステージ Cue（キュー）のプロジェクトチームでは「人と人との触れ合いを大切にし、笑顔を頂けるようなコンサートにしたい」と話す。

中村さんは15年位前に木管楽器のオーボエの柔らかな音色に魅せられて演奏するようになった。当時、水戸に勤務していたので会社帰りに楽器店に寄って教えてもらっていた。とてもデリケートで難しい楽器だが中村さんの大好きな楽器だ。昨年は東京でクリスマスコンサートに参加し演奏した。もう一つの趣味はロードバイク。若い時には茂木で開かれるロードバイクの大会にも参加していたが、今は風に吹かれながらのんびりと楽しんでいる。その他にも「何か人のためになりたい」と気の合う仲間とサークルをしており、東京マラソンのボランティアや富士山のゴミ拾いなどのボランティアに参加している。現在、中村さんは造園会社に勤務し、営業と住宅のエクステリアの仕事をしている。「人の笑顔を見るために仕事をしている。それは、みの～れで色々なボランティアに参加しているときも同じ気持ちになる」と話す。

中村さんにとってみの～れは「出会いと情報を共有して作品を作り上げる楽しみがある場所。お客様に、「また来たいな」、「私もやってみたいな」と思ってもらえるような・・・、次に繋がる雰囲気を作りたい」と話してくれた。また、「若い人たちに色々な事に挑戦してもらいたい。人に会うのが嫌だったり、引っ込み思案の人も勇気を出して一歩踏み出してみませんか？夢は叶うもの。夢を探しにみの～れに足を運んでみませんか？」と中村さんは優しく語りかけてくれた。（藤田佐知子）